

開設講習名	【選択】環境概論（初心者向け）		講師	佐伯 隆・隅本 倫徳	
講習会場	山口大学常盤キャンパス		会場所在地	山口県宇部市	
開設日	平成 29 年 11 月 25 日		時間数	6 時間	受講予定人数 60 人
受講者募集期間	平成 29 年 9 月 26 日～平成 29 年 10 月 4 日		履修認定時期	平成 30 年 1 月 15 日まで	
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	全教諭		
受講料等総額	6,000 円	(うち受講料以外の経費)			

【到達目標】

- ・リサイクルや排出の流れ、循環型社会への取り組み、および化学物質の自然環境下での変化など、環境問題を考える上で重要な物質循環に関する理解を深める。
- ・環境問題について、特に大気環境とエネルギー問題に関する専門用語とその発生原因、影響を理解し、地球環境問題についての幅広い知識を身につける。

【講習の概要】

現在の文明社会を構築してきたものの一つは様々な化学物質であるが、一方でそれらは地球における環境汚染の元凶ともなっている。午前中は人類が環境汚染を引き起こした化学物質を紹介し、それらに対する現在の回収、リサイクル、排出等の流れについて解説していく。今後、我々が取り組むべき物質循環型社会の構築について考える。

①化学物質がもたらした環境汚染： 人類は生活環境を快適にするために様々な化学物質を使用してきた。それらの使用量が増加し地球の自然浄化能を超えることで、様々な環境汚染を引き起こしている。ここでは、地球における物質循環について解説すると共に、化学物質の有害性および無害化への対策について説明する。

②ごみとリサイクル： 人間が排出するごみに関して、資源の有効利用および廃棄物のリサイクルによる循環型資源の現状を解説する。さらに地方自治体のリサイクルに対する取り組み事例を紹介する。

③物質循環型社会を目指して： 開発される化学物質について様々な環境に及ぼす社会的影響・関心が高まる中で、我々が目指さなければならない化学物質の循環性について解説する。

午後は、エネルギー問題と大気環境について、地球規模の視点からその現状と問題点を明らかにする。人間活動の拡大にともない環境負荷が増大しており、また一方で化石エネルギー源の枯渇が問題となっている状況を解説し、我々ができることについて考える。

④エネルギー問題： 産業革命以後、人類は化石燃料の使用を中心としたエネルギー社会を構築してきた。このことが大量の二酸化炭素の大気放出につながり、地球温暖化を起こしつつある。この中で、現在より10年前の時点で、わが国はどのようなエネルギー政策を考えていたのか、そしてそれがどのようになったかを解説する。

⑤大気環境： 二酸化炭素による地球温暖化のメカニズムを解説し、これを元に戻すことがどれだけ大変なことかを説明する。さらに安定な冷媒として多用されてきたオゾンが大気中に排出したことで、世界的な規模の環境問題が発生していることを解説する。

⑥環境問題に対する教育現場での取り組みについて： 地球規模の環境問題が深刻になりつつある中で、教育現場でどのような取り組みが可能かを考え、その例を提案する。

【評価の方法・評価基準】

評価の方法： 筆記試験

評価基準：合格：講義の内容の基礎的な部分を理解し、説明できる。

不合格：上記以外

【テキスト・参考文献】

事前にテキスト(資料)を配布予定。

参考文献：人と環境-循環型社会をめざして-、合原真ほか三共出版（必須ではない）

【受講者への伝達事項】

「初心者向け」とは、理系の難しい基礎知識がなくても受講できるように講義をするということです。よって、地球温暖化に及ぼす温室効果ガスの影響や、オゾンホールができるメカニズムなどをすでに理解している方には、希薄な内容に感じられるかもしれません。